

★ソフトウェアサイエンス研究会 (SS)

専門委員長 小林隆志 副委員長 岡野浩三
幹事 島 和之・林 晋平 幹事補佐 小形真平

日時 3月3日(水) 10:00~16:40
4日(木) 10:00~16:15

会場 オンライン開催

議題

3日午前 セッション1 (10:00~11:40)

1. 重み付き多重文脈自由文法とその性質について ○井上裕介・関 浩之 (名大)
2. レジスタオートマトンに変換可能な凍結演算子付き線形時相論理の部分クラス
○大西 晃・仙田涼摩 (名大)・高田喜朗 (高知工科大)・関 浩之 (名大)
3. 排他制御を含むプログラムから論理制約付き項書換え系への変換 (2020年3月研究会振替分)
○小嶋美咲・西田直樹・松原 豊・酒井正彦 (名大)
4. Rust プログラムの情報流解析のための型システム (2020年3月研究会振替分)
長谷川健太 (立命館大)・○桑原寛明 (南山大)・國枝義敏 (立命館大)

3日午後 セッション2 (13:00~14:40)

5. プログラム依存グラフに基づく Systematic Edit Pattern を利用した自動プログラム修正
○野田訓広・横山晴樹・菊池慎司 (富士通研)
6. 変更コード片の動的切替による自動プログラム修正のビルド時間削減の試み
○古藤寛大・肥後芳樹・椋本真佑・楠本真二 (阪大)
7. 自動生成されたテストケースが自動バグ修正の結果に与える影響の分析
○松田雄河・山手響介・亀井靖高・鶴林尚靖 (九大)
8. 多目的遺伝的アルゴリズムを用いた自動プログラム生成手法の提案—プログラミングコンテストを題材として—
○渡辺大登・椋本真佑・肥後芳樹・楠本真二 (阪大)・倉林利行・吉村 優・切貫弘之・但馬将貴・丹野治門 (NTT)

セッション3 (15:00~16:40)

9. 修正履歴を用いた機械翻訳技術による自動バグ修正の性能評価
○秋山楽登・中村 司・亀井靖高・鶴林尚靖 (九大)
10. 最大安全半径の監視によるコンセプトドリフト検知可能性の評価 ○佐藤直人・來間啓伸・小川秀人 (日立)
11. 訓練済み機械学習モデル歪みの定量指標 (2020年3月研究会振替分) 中島 震 (NII)
12. プログラミング教育支援に向けた深層学習を用いた類似問題検索
○山本大貴・松尾春紀・沖野健太郎・亀井靖高・鶴林尚靖 (九大)

4日午前 セッション4 (10:00~11:40)

1. 構文種別に着目した Dockerfile のコードクローン検出手法
○鶴 智秋・椋本真佑・肥後芳樹・楠本真二 (阪大)
2. 複数観点を考慮したクローンリファクタリング支援 ○大谷悠太郎・林 晋平 (東工大)
3. 不適切なゴール詳細化検出のためのゴール記述類似度算出法の比較 ○飯島 慧・林 晋平・佐伯元司 (東工大)
4. Doc2Vec によるソースファイルのクラスタリングに対する規模の影響 ○西岡大介・神谷年洋 (島根大)

4日午後 セッション5 (13:00~14:40)

5. 逐次プログラムのテストによる分散フォールトトレラントアルゴリズムのバグ検出 土屋達弘 (阪大)
6. Software Analysis Workbench と SymbolicPathFindre を使用した網羅的な反例とパス制約の生成
○辛島 凜・小形真平・岡野浩三 (信州大)
7. 動的テストスメル検出のための Gradle プラグインの試作 ○谷口真幸・椋本真佑・楠本真二 (阪大)
8. Jupyter Notebook のための実行ログを用いた再現性支援ツールの提案
○松原直利・松井 健・鶴林尚靖・亀井靖高 (九大)

セッション6 (15:00~16:15)

9. 変更履歴とゴール間依存関係を用いたゴールへの不適切な変更操作の回避支援
○山崎友路・林 晋平・佐伯元司 (東工大)
10. 共変更分析に基づく変更支援のための不完全な変更の収集と評価 ○石田義八・小林隆志 (東工大)
11. Untangling Composite Changes Using Tree-based Convolution Neural Network
○Cong Li・Takashi Kobayashi (Tokyo Inst. of Tech)

【問合先】

林 晋平 (東工大)

TEL [03] 5734-3213

E-mail : hayashi@c.titech.ac.jp

©最新の情報はSS研究会ホームページで御確認下さい.

<https://www.ieice.org/iss/ss/>